



20TH

JAPAN JOINT STAFF

統合幕僚監部20年の歩み

統合幕僚監部は令和8年（2026年）3月27日をもって創設20周年を迎えました。

統合幕僚監部創設20周年を迎えて



第8代 統合幕僚長 空 将 内 倉 浩 昭 / うちくら ひろあき

統合幕僚監部は平成18年の創設から20周年という節目の年を迎えました。この20年の歩みは、創設当初より統合運用の礎を築き、困難な課題に果敢に取り組んでこられた多くの先達の不断の努力と献身、そして日頃より自衛隊の活動に対するご理解とご支援をいただいている国民の皆様、ならびに関係するすべての方々のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

統合幕僚監部は、自衛隊の統合運用の中核として、我が国の平和と安全を守るため、陸・海・空自衛隊を一体として運用する体制の確立と深化に取り組んでまいりました。災害派遣、国際平和協力活動、日米同盟を基軸とした多国間の連携、そして我が国周辺の警戒監視や各種事態への備えなど、任務は年々多様化、高度・高速化しています。

今日、我が国を取り巻く安全保障環境は、これまでにない速さで変化し、複雑さと不確実性を増しています。こうした中であって、統合幕僚監部は、これまでの先達が積み重ねてきた統合運用の成果と教訓を確実に継承しつつ、その実効性を不断に高め、防衛力の

抜本的強化に向けた取組みを着実に進めるとともに、国民の生命と平和な暮らしを守るという自衛隊の使命を全うしてまいります。

統合幕僚監部に勤務するすべての隊員は、先輩諸氏が示してきた使命感、そして国民の負託の重みを胸に刻みつつ、誇りをもって日々の任務に邁進しております。今後とも、国民の皆様に信頼される統合運用の中核として、透明性を大切にしつつ、着実に職責を果たしていく所存です。

結びに、これまで統合幕僚監部の歩みを支えてこられた全ての先達に深甚なる敬意を表するとともに、国民の皆様及び関係各位からのご支援に改めて感謝申し上げます。

今後とも、統合幕僚監部ならびに自衛隊の活動に対し、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

統合幕僚監部20年の歩み



H18年(2006年)－H21年(2009年)

国際情勢

18.7 北朝鮮、日本海に向け弾道ミサイル7発を発射

国内情勢

統合幕僚監部

18.3 統合幕僚会議・同事務局を廃止、統合幕僚監部が新設



統合幕僚監部新設
(18.3)



初代 統合幕僚長
陸将 先崎 一
(18.3.27～18.8.3)

統合幕僚監部20年の歩み



H18年(2006年)ーH21年(2009年)

国際情勢

- 18.10 北朝鮮、第1回核実験を実施
- 19. 8 米国、イラクへの増派(サージ)を本格化
- 20. 3 チベット騒乱、中国の民族問題が国際化
- 20. 8 グルジア紛争勃発
- 20. 9 リーマン・ショック、世界金融危機

国内情勢

- 18. 9 安倍晋三内閣(第一次)発足
- 19. 1 防衛庁から防衛省へ移行
- 19. 9 安倍首相辞任、福田康夫内閣発足
- 20. 9 麻生太郎内閣発足
- 21. 3 初の弾道ミサイル等破壊措置命令を発令
- 21. 3 ソマリア沖・アデン湾海賊対処に伴う艦艇派遣

統合幕僚監部

- 19. 1 防衛計画部に「統合装備体系班」新設
- 20. 3 指揮通信システム部指揮通信システム運用課
「中央指揮所管理運営室」、「防衛情報指揮通信基
盤管理 運営室」及び「サイバー防護保全班」廃止、
共同部隊「自衛隊指揮通信システム隊」新設
- 21. 8 運用部運用第1課に「カウンターインテリジェンス
室」新設
統合幕僚学校「国際平和協力センター」新設



防衛庁から防衛省へ
(19.1)



海賊対処活動
(21.3)



第2代 統合幕僚長
海将 齋藤 隆
(18.8.4~21.3.23)

統合幕僚監部20年の歩み



H21年(2009年)ーH24年(2012年)

国際情勢	国内情勢	統合幕僚監部
21.4 北朝鮮、長距離弾道ミサイル発射 22.3 米露、新START合意 22.3 北朝鮮、韓国哨戒艦を撃沈(天安沈没事件) 22.5 米国防省「サイバー司令部」設立 22.11 北朝鮮、韓国延坪島砲撃 23.3 NATO、リビア空爆(カダフィ政権崩壊) 23.10 米国、イラク戦争の終結宣言 23.12 北朝鮮、金正日総書記死去	21.9 鳩山由紀夫内閣発足 21.10 防衛計画大綱と中期防衛力整備計画策定の1年先送りが決定 22.6 鳩山首相辞任、菅直人内閣発足 22.9 尖閣諸島沖中国漁船衝突事件 23.3 東日本大震災発生・福島第一原発事故 23.4 東日本大震災復興構想会議設置 23.8 菅首相辞任、野田佳彦内閣発足	22.3 指揮通信システム部指揮通信システム企画課に「指揮通信システム調達班」新設 23.3 運用部運用第2課に「地域運用調整官」を新設 指揮通信システム部指揮通信システム企画課に「サイバー企画調整官」を新設 23.6 ジブチ自衛隊拠点運用開始



ジブチにおける現地拠点
(23.6)



東日本大震災 被災者救援活動
(23.3)



第3代 統合幕僚長
陸将 折木 良一
(21.3.24~24.1.30)

統合幕僚監部20年の歩み



H24年(2012年)ーH26年(2014年)

国際情勢	国内情勢	統合幕僚監部
24.11 中国、習近平体制発足 25.1 アルジェリア邦人拘束事件 26.3 ウクライナ政変(マイダン革命) 26.3 ロシア、クリミア併合 26.6 ISIL「イスラム国」を樹立	24.12 安倍晋三内閣(第二次)発足 25.1 アベノミクス開始(大胆な金融緩和) 25.12 特定秘密保護法成立 25.12 国家安全保障会議設置 26.1 国家安全保障局発足 26.7 集团的自衛権行使容認の閣議決定	24.1 UNMISS第1次隊出国 24.3 総務部総務課に「庶務室」を新設 24.4 「最先任下士官」新設 24.8 「運用部副部長」及び総務課に「総務調整官」を新設 総務部「人事教育課」を廃止 25.1 アルジェリア邦人拘束事件被害者などに対する在外邦人等輸送を実施 25.10 米国における統合訓練(実動訓練)「ドーンブリッツ13」に参加 26.3 自衛隊指揮通信システム隊隷下にサイバー防衛隊を新編



南スーダン派遣施設隊の活動
(24.1)



ドーンブリッツ13日米共同記者会見
(25.10)



第4代 統合幕僚長
空将 岩崎 茂
(24.1.31~26.10.13)

統合幕僚監部20年の歩み



H26年(2014年)ーH31年(2019年)

国際情勢	国内情勢	統合幕僚監部
27. 1 ISILによる邦人人質拘束の動画公開 27. 7 イラン核合意(JCPOA)成立 27. 8 ロシア航空宇宙軍を創設 27. 9 シリア難民が欧州へ大量流入 28. 7 米韓、在韓米軍へのTHAAD配備決定 29. 1 トランプ米大統領就任 30. 6 米朝首脳会議(シンガポール)	26. 9 安全保障関連法成立 26.11 「サイバーセキュリティ基本法」成立 27.4~5 ネパールにおける地震災害に対する国際緊急援助活動 28. 4 熊本地震発生 28. 8 天皇陛下(現上皇陛下)、退位の意向表明 29. 5 UNMISS自衛隊派遣終了 29.12 国家安全保障会議(NSC)等において、イージスアショア2基の導入決定 30. 1 空自三沢基地にF35A配備	27.10 「総括官」「参事官」を新設 29. 3 総務課「連絡調整官」「教育班」「統合人事室」「国際人道業務室」を廃止、総務部に「人事教育課」を新設 指揮通信システム部指揮通信システム企画課の「指揮通信システム調達班」を廃止し、「指揮通信システム開発室」を新設、「コンピュータ・システム共通運用基盤管理室」を廃止し、「通信基盤維持管理班」を新設 31. 2、3 アデン湾においてスペイン海軍との海賊対処共同訓練を実施



統合幕僚監部組織改編
(27.10)



空自三沢基地にF35A配備
(30.1)



第5代 統合幕僚長
海将 河野 克俊
(26.10.14~31.3.31)

統合幕僚監部20年の歩み



H31年(2019年)ーR5年(2023年)

国際情勢

- 1. 6 G20大阪サミット開催
- 1. 9 米国、タリバンとの和平協議中止を表明
- 1.12 米国、第6の軍種である宇宙軍を創設
- 2. 2 米国、タリバンとの和平合意に署名
- 2. 1 新型コロナウイルス感染拡大
- 3. 1 バイデン米大統領就任
- 3. 8 米国、アフガニスタンから駐留米軍を撤退
- 4. 2 ロシア、ウクライナへ全面侵攻
- 5. 2 トルコ・シリア大地震

国内情勢

- 1. 5 平成から令和に改元
- 1.11~12 ジブチにおける大雨洪水災害に対する国際緊急援助活動
- 2. 1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための災害派遣
- 2. 6 イーゼスアショアの配備プロセス停止
- 2. 9 安倍首相辞任、菅義偉内閣発足
- 3.10 岸田文雄内閣発足
- 4. 7 安倍元首相銃撃事件
- 4.12 戦略3文書閣議決定

統合幕僚監部

- 1.12 NATO主催のサイバー防衛演習「サイバー・コアリション2019」に参加
- 2. 1、7 アデン湾においてスペイン海軍との海賊対処共同訓練を実施
- 3. 8 アフガニスタンからの在外邦人等輸送
- 4. 3 自衛隊指揮通信システム隊を廃止し、自衛隊サイバー防衛隊に改編



アフガニスタンに向かうC-130
(3.8)



新型コロナ患者空輸
(2.8)



第6代 統合幕僚長
陸将 山崎 幸二
(31.4.1~5.3.30)

統合幕僚監部20年の歩み



R5年(2023年)ーR7年(2025年)

国際情勢	国内情勢	統合幕僚監部
5.3 ロシア・ウクライナ戦争が長期戦消耗戦化 5.5 WHO、新型コロナウイルス緊急事態を解除 5.10 パレスチナ・イスラエル戦争、勃発 6.4 台湾でM7.7の地震 7.1 パレスチナ・イスラエル戦争、停戦合意 7.1 トランプ米大統領就任	5.6 広島でG7サミット開催 6.1 能登半島地震発生 6.7 パリ五輪、日本は海外最多メダル45個 6.9 石破茂内閣発足 7.4 大阪・関西万博開催	6.10 在レバノン共和国在外邦人等輸送 7.3 「指揮通信システム部」を廃止し、「首席指揮通信システム官」に改編 「首席後方補給官」を「後方計画部」に改編 7.3 統合作戦司令部が新設



令和6年能登半島地震災害派遣
(6.1)



統合作戦司令部新編行事
(7.3)



第7代 統合幕僚長
陸将 吉田 圭秀
(5.3.30~7.7.31)

統合幕僚監部20年の歩み

R7年(2025年)ー

国際情勢

- 7.9 セブ島で地震 70人以上が死亡
- 7.10 トランプ米大統領と習近平首席が6年ぶりに対面会談
- 8.2 ミラノ・コルティナ冬季五輪開催

国内情勢

- 7.8 80回目の終戦記念日
- 7.10 高市氏、女性初首相
- 8.2 新田原基地に最新鋭のステルス戦闘機(F-35B) 8機が配備完了

統合幕僚監部

- 8.3 統合幕僚監部創設20周年



KE26 (キーンエッジ26)
(8.2)



新田原基地F-35B配備式典
(8.2)



第8代 統合幕僚長
空将 内倉 浩昭
(7.8.1～)



20TH

JAPAN JOINT STAFF

これからも統合幕僚監部の隊員一同、心を新たに、更なる高みをめざす所存です。

皆様のより一層の自衛隊の任務へのご理解と多大なご支援ご協力を賜りますようよろしく
お願いします。